

福 議 委 号
令和 6 年 1 1 月 7 日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

経済福祉常任委員会
委員長 佐藤 孝男



所管事務調査報告書の提出について

令和 6 年 9 月 1 8 日福島町議会定例会 9 月会議において決定した、休会中の
所管事務調査を終えたので、会議条例第 1 4 8 条の規定により、下記のとおり
報告する。

記

調 査 事 件	6 第6次福島町総合計画の変更について					
調 査 期 間	令和6年10月28日					
出席委員	委員長 委員 委	佐藤 孝男 平沼 昌平 溝部 幸基	副委員長 委 員	小鹿 昭義 平野 隆雄		
委員外議員	議 員	藤山 大	議 員	熊野 茂夫		
出席説明員	副町長 産業課長 福祉課長 企画係長	小鹿 一彦 福原 貴之 佐藤 和利 福井 理央	企画課長 町民課長 建設課長	村田 洋臣 深山 肇 紙谷 一		
議会事務局職員	事務局長 会計任用職員	鍋谷 浩行 熊谷 治子	係 長	山下 貴義		

〔委員会意見〕

調査事件 6 第 6 次福島町総合計画の変更について（令和 6 年 10 月 28 日調査）

定例会 9 月会議において議決された第 6 次総合計画「前期実施計画」について、町が行った令和 6 年度ローリング作業に伴い、事業内容に変更が生じたことから、変更内容等を調査したものであり、調査結果を報告する。

【論点とした調査項目・意見】

ローリングに伴う第 6 次福島町総合計画の変更内容等については一定の理解をしたが、次の事項について検討されたい。

資料の記載内容と答弁に整合性が取れていない部分があった点については、単純な記載誤りであっても事業が適切に計画されているのか疑念を持たれることに繋がることから、十分注意して資料を作成するよう指摘する。

1 青函トンネル記念館等屋外展示物解体撤去事業

青函トンネル記念館等の屋外展示物について、計画を見直し撤去から保存することを選択したことについては賛同する。

北大との協議の中で保存に必要な資金をクラウドファンディングで対応する提案があったとのことだが、クラウドファンディングで資金が必ず集まる保障はなく、展示物の状態から地震等を考慮すると早急な対処が必要と思慮するので、先ず、北大と保存方法等について協議し、町が主体となって総体費用も含めた保存・維持の方向性を示すべきであると指摘する。

2 冬の生活支援事業

冬の生活支援事業については、ほぼ一般財源で賄い今後も継続して行くとしているが、物価高騰の状況がさらに続くことが予測される状況であり、これまでと同様の金額では十分な支援にはならないことが懸念されることから、早急に見直す必要があると思慮するので検討されたい。